

「高齢者を取り巻く環境と人権」

1. 高齢者を取り巻く環境
2. 大きく変わった高齢者像
3. 高齢者の人権問題の状況
4. 人権問題の発生箇所
5. 高齢者の人権を守るためには
6. 高齢期の課題と人権
7. 生きがいを持って人権を守って生きていくためには

臼倉 登貴雄

生きがい支援システム研究所 代表
<http://www.usukura.com/>

1. 高齢者を取り巻く環境

- ①生活意識の変化
- ②大きな社会変革
- ③家庭の孤立、家族の崩壊、個人の個立（孤立）、無縁化
- ④長寿化
- ⑤就労の機会
- ⑥社会参加の機会
- ⑦住居の確保
- ⑧バリア（家、街、店、生活、文化、情報等）

2. 大きく変わった高齢者像

- ① 高齢者自身
 - ・ 明るく元気で積極的
 - ・ 多様な消費行動
 - ・ 自分人生を謳歌
 - ・ 意欲的な社会参加
 - ・ 生涯現役・活躍
- ② 社会の見る目
 - ・ 存在意識の変化、 裕福世代
 - 社会的負担、 世代内連帯

3. 高齢者の人権問題の状況

- ① 身体的暴力
- ② 言葉の暴力や無視
- ③ 日常的な世話や介護等の拒否、
放棄、放任
- ④ 財産の不当な処分
- ⑤ 年金を渡さない
- ⑥ 性的虐待
- ⑦ 悪質商法や流行の振り込め詐欺
などの被害

4. 人権問題の発生箇所

- ① 家庭内暴力や虐待
- ② 施設内暴力や虐待
- ③ 社会的暴力や虐待
- ④ ネットにおける誹謗中傷

5. 高齢者の人権を守るためには

- ① 行政の対応
相談 救済 啓発
- ② 早期発見と対処
見守り ネットワーク
- ③ 意識啓発
自分の人権 みんなの人権
備え

6. 高齢期の課題と人権

- ①人との関わり（人間関係）
- ②心身の変化（老化）
- ③お金（家計）
- ④生きがい（行動）
- ⑤住まい（住居）
- ⑥備え（準備）
- ⑦生き方、暮らし方（価値観）
- ⑧ライフパニック（対処）

7. 生きがいを持って人権を守って 生きていくためには

- ①生きがいを失わずに社会と関わっていき
ていくこと
- ②健康で生きていくこと
- ③感性を磨くこと
- ④自立して生きていくこと
- ⑤配偶者と子どもとの理解を深めておくこと
- ⑥備えを怠らないこと
- ⑦世代内連帯で生きていくこと
- ⑧相談・信頼できるひとを確保しておくこと
- ⑨社会の救済制度を知っておくこと

人権を守って生きていくための備え

No	項 目
1	高齢期における夢や希望を持っていること
2	高齢期の人生計画を立てておくこと
3	高齢期の暮らし方について配偶者と良く話しておくこと
4	他人の役に立つ仕事や役割を持つこと
5	楽しく生きがいの感じられる趣味・特技などを持つこと
6	配偶者に先立たれた後のことを考えておくこと
7	終の住処について考えておくこと
8	高齢期の収入と支出について具体的に把握しておくこと
9	地域との交流や、地域への奉仕活動に参加すること
10	自分や配偶者が要介護になったときのことを考えておくこと
11	要介護施設や介護サービスなどの情報を入手しておくこと
12	治療困難の病気の場合、病名告知を望むかを決めておくこと
13	延命治療のことについて家族と話しあっておくこと
14	自分や配偶者の葬儀やお墓について話し合っておくこと
15	財産・資産が整理記録され、分かるようにしておくこと
16	緊急時に備えた携帯品の用意や身辺整理をしておくこと
17	加齢とともに病や障害を持つことを認識しておくこと
18	自己管理ができなくなった時の対策を考えておくこと
19	救済制度を知っておくこと
20	相談できる人を確保しておくこと

人権意識チェックリスト

No	項 目
1	人によって態度を変えて接すようなことはしないようにしている。
2	性別、年齢、出身、学歴などで判断しないようにしている。
3	週刊誌やマスコミの情報を鵜呑みにしないようにしている。
4	自分と違った生き方や価値観を持った人でも避けてしまわないようにしている。
5	子どもの躾のためには体罰も必要だとは思わない。
6	人の噂を他の人に話してしまわないようにしている。
7	障害者や一人暮らしの高齢者には声を掛けるようにしている。
8	他人の行動を否定してしまわないようにしている。
9	差別や暴力を自分とは全く関係のないと思わないようにしている。
10	おかしいと思ったとき 発言を控えてしまわないようにしている。
11	悪口や陰口を人に言わないようにしている。
12	楽しく有意義な催しや講座を他の人に教えてあげるようにしている。
13	仲間に入れない人がいたときは誘うようにしている。
14	差別的な言葉は使わないように注意している。
15	人権問題に対して、無くすようにすべきだと考えている。
16	人権侵害や虐待になるようなことに対しては注意してあげるようにしている。

人権、生活、健康などが守られていない高齢者の発見方法

NO	発見項目
1	暴力を受けている、どなられる、年金を取られるなどと訴えている
2	あざや傷があるのに理由を聞いてもはっきりしない
3	家族が介護でとても疲れていたり、高齢者の悪口を言っている
4	介護や病気について相談する人がいないようだ
5	一人暮らしや高齢夫婦世帯で、最近、姿を見かけなくなった
6	高齢者を訪ねると家族に嫌がられたり、会わせてもらえない
7	昼間でも雨戸がしまっている
8	家の周囲にゴミが放置されたり、異臭がする
9	郵便受けが新聞や手紙で一杯になっている
10	家から怒鳴り声や泣き声が聞こえたり、大きな物音がする
11	暑い日や寒い日、雨の日なのに高齢者が長時間外にいる
12	高齢者が道路に座り込んだり、徘徊していることがある
13	介護が必要なのに、サービスを利用している様子がない
14	高齢者の服が汚れていたり、お風呂に入っている様子がない
15	最近、セールスや営業の車が来ることが多くなった
16	家族がいるのに、いつもコンビニなどで一人分のお弁当を買っている

参考:東京都老人総合研究所作成資料より

生きがいのあるライフスタイル診断

そうしている場合は[○]を、そうでない場合は[×]を、診断欄に付けてください。

NO	診断項目	診断欄	問題や課題
1	毎日やることが有る		
2	常に人と関わっている		
3	夢や希望を持っている		
4	喜びや幸せを感じている		
5	プラス指向で暮らしている		
6	緊張して暮らしている		
7	ゆとりを持って暮らしている		
8	計画的に暮らしている		
9	自立している		
10	常に自らの向上を図っている		
11	人生をまっとうしようとしている		
12	健康につとめている		
13	社会の動きに関心を持っている		
14	役割を持っている		
15	人のためになることをしている		
16	他人を意識して身綺麗にしている		
17	愛するひとや愛されるひとがいる		
18	生涯をかけてやることがある		
19	安らげる場所がある		
20	悔いの無い生き方をしている		

寝たきりや認知症にならないための生活習慣点検表

1	食生活に気を配っている	はい	いいえ
2	毎日すすんで運動している	はい	いいえ
3	睡眠・休養を十分にとっている	はい	いいえ
4	生活にメリハリを付けるようにしている	はい	いいえ
5	健康診断を受けている	はい	いいえ
6	歯を大切にしている	はい	いいえ
7	家の中を動きやすく安全にしている	はい	いいえ
8	行動する場合は安全に心掛けている	はい	いいえ
9	リズムのある生活をしている	はい	いいえ
10	自分のことは自分でしている	はい	いいえ
11	いつもおしゃれに心掛けている	はい	いいえ
12	家庭での役割を持っている	はい	いいえ
13	感謝の気持ちを言葉で言い表している	はい	いいえ
14	クラブ活動や地域の行事に参加している	はい	いいえ
15	家の外でする趣味を持っている	はい	いいえ
16	何でも話し合える友達がいる	はい	いいえ
17	世代を越えた仲間がいる	はい	いいえ
18	ボランティア活動など人のためになることを行っている	はい	いいえ
19	いつも新聞を読んでいる	はい	いいえ
20	向上心や向学心を持っている	はい	いいえ